

川崎市景観計画改定支援業務委託 プロポーザル評価委員会設置要綱

(目的)

第1条 本業務は、更なる魅力ある川崎らしい景観を形成するため、平成30年12月に改定した「川崎市景観計画（以下「景観計画」という）」について、国や本市の関連計画や社会環境等の変化等を踏まえ、課題を整理し、現行制度や運用の見直しを図り、市民アンケートや庁内会議、各種審議会を経て、景観計画改定案を作成するとともに、景観計画を市民・事業者に分かりやすくかつ広く普及するための普及啓発ツールの企画書を作成するものである。

このため、計画改定に関する企画力、高度な創造性に加えて、専門的な知見、業務実施能力等を有する事業者を募集し、企画内容の工夫、企画実行力の観点から審査を行い、公正かつ公平に選定することを目的に、川崎市景観計画改定支援業務委託プロポーザル評価委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 提案の採否の審査及び評価（以下「評価」という。）に関すること。
- (2) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会の委員は次の各号の職にある者をもって充て、委員長は、まちづくり局計画部長をもって充てる。

- (1) まちづくり局計画部長
- (2) 総務企画局都市政策部企画調整課長
- (3) まちづくり局総務部企画課長
- (4) まちづくり局計画部都市計画課長
- (5) まちづくり局計画部景観・地区まちづくり支援担当 担当課長
- (6) 建設緑政局総務部企画課長
- (7) 建設緑政局道路河川管理部路政課長

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長が事故その他の事由により職務を遂行できないときは、その他委員の互選により選ばれた委員がその職務を代行する。

(会議等)

第4条 委員会は、必要に応じて委員長が召集する。

2 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ開催することができない。ただし、委員が事故その他の事由により職務を遂行できないときは、あらかじめ委員長の指名した者がその職務を代理することができる。

(提案書の評価)

第5条 事業者から提出された提案書について、委員は、あらかじめ設定した評価基準に基づき評価を行い、受託予定者を選定する。

(評価結果の報告)

第6条 次条で規定する所管の課長は、前条の規定による評価結果及び受託予定者をまちづくり局委託契約指名選定等委員会に報告する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、まちづくり局計画部景観・地区まちづくり支援担当において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会において必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和8年2月2日から施行する。

(失効)

2 この要綱は、令和11年3月15日にその効力を失う。